

ANAホールディングス株式会社

2014年3月期 決算説明会

代表取締役社長
伊東 信一郎

専務取締役 執行役員
殿元 清司

2014年4月30日



目次

【第1部】

I. 2014年3月期 決算・

2015年3月期 業績予想

2014年3月期 決算・	P. 4
2015年3月期 業績予想【概要】	
「2014年度 航空輸送事業計画」のポイント	P. 5
羽田増枠後の国際線旅客数見通し	P. 6
コスト構造改革・ユニットコスト推移	P. 7
航空機発注状況と2020年度の機材数イメージ	P. 8

【第2部】

II. 2014年3月期 決算(詳細)

業績ハイライト	P. 10
連結決算概要(経営成績)	P. 11
連結決算概要(財政状態)	P. 12
連結決算概要(キャッシュフロー)	P. 13
連結決算概要(セグメント別実績)	P. 14
航空事業(収入・費用)	P. 15
航空事業(営業利益増減要因)	P. 16
航空事業(国内旅客事業)	P. 17-18
航空事業(国際旅客事業)	P. 19-21
航空事業(国内貨物事業)	P. 22
航空事業(国際貨物事業)	P. 23-24
航空事業以外のセグメント	P. 25

III. 2015年3月期 業績予想(詳細)

連結業績予想	P.27
セグメント別業績予想	P.28
航空事業(収入・費用予想)	P.29
業績予想の計画前提(旅客事業)	P.30
業績予想の計画前提(貨物事業)	P.31
連結バランスシート・キャッシュフロー(計画)	P.32

IV. 補足資料

燃油・為替情報	P.34
2014年3月期 為替変動の収支影響	P.35
2015年3月期 為替変動による収支感応度	
国際旅客 方面別実績	P.36
国際貨物 方面別実績	P.37
運用航空機数	P.38

【第1部】

I . 2014年3月期 決算 ・ 2015年3月期 業績予想



2014年3月期 決算・2015年3月期 業績予想【概要】

(2013年度)修正計画から利益を上積み、(2014年度)中期経営戦略に基づく成長ストーリーを展開

(単位)億円

	2013年度 決算			2014年度 業績予想	
	通期	前年差	計画差 ^(※1)	通期	前年差
営業収入	16,010	+ 1,174	+ 210	17,000	+ 989
航空事業	13,952	+ 1,024	+ 202	15,000	+ 1,047
営業利益	659	▲ 378	+ 59	850	+ 190
航空事業	653	▲ 237	+ 103	780	+ 126
営業利益率	4.1%	▲ 2.9%	+ 0.3%	5.0%	+ 0.9%
当期純利益	188	▲ 242	+ 38	350	+ 161
EBITDA	2,021	▲ 255	+ 76	2,270	+ 248
1株あたり当期利益	5.41円	▲ 8.10円	+ 1.12円	10.03円	+ 4.62円
1株あたり配当	3円	▲ 1円	-	4円	+ 1円

2013年度 上期

増収減益への下方修正

**B787
運航停止**

**中国線需要
回復遅れ**

解決

**急激な
円安**

**LCC
業績低迷**

対策
実施

2013年度 下期

堅調な需要を踏まえた収益回復策

(国内線)プロモーション運賃の戦略的投入

(国際線)イールドマネジメント強化・単価向上

修正計画から利益を上積み

2014年度

'14-16年度
中期経営戦略

成長ストーリーの展開

(※1)2013/10/30 修正計画からの差異

「2014年度 航空輸送事業計画」のポイント

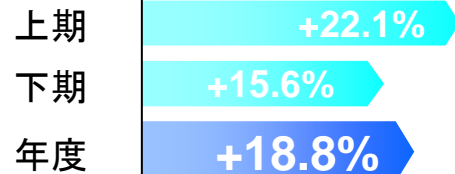
- (国際線旅客事業) 首都圏空港拡張を通して当社の優位性を確保、成長ドライバーに
- (国内線旅客事業) 需給適合を推進するとともに運賃改定を実施、収益基盤を維持
- (貨物事業(国際線)) アジアの成長をフレイターネットワークでカバー、グローバル物流の展開へ

生産量(2013年度比)

事業計画のポイントと足元の状況

国際線 旅客事業

【座席キロ】※コードシェア便を含む

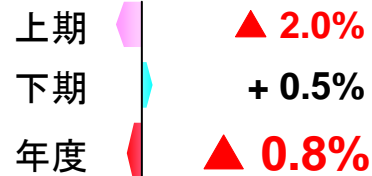


- ✓ 羽田最大の国際線ネットワークキャリア
- ✓ 成田での接続機能強化(北米-アジア間)
- ✓ B787による就航都市の拡大

足元の需要動向は順調に推移

国内線 旅客事業

【座席キロ】※コードシェア便を含む

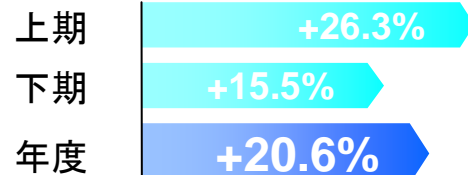


- ✓ 生産量の抑制・需給適合の推進
- ✓ 柔軟な運賃改定の実施

7月から運賃改定を実施

貨物事業 (国際線)

【有効貨物トンキロ(国際線)】



- ✓ 国際線拡充(ベリー)とフレイター増機(ネットワークの拡大)

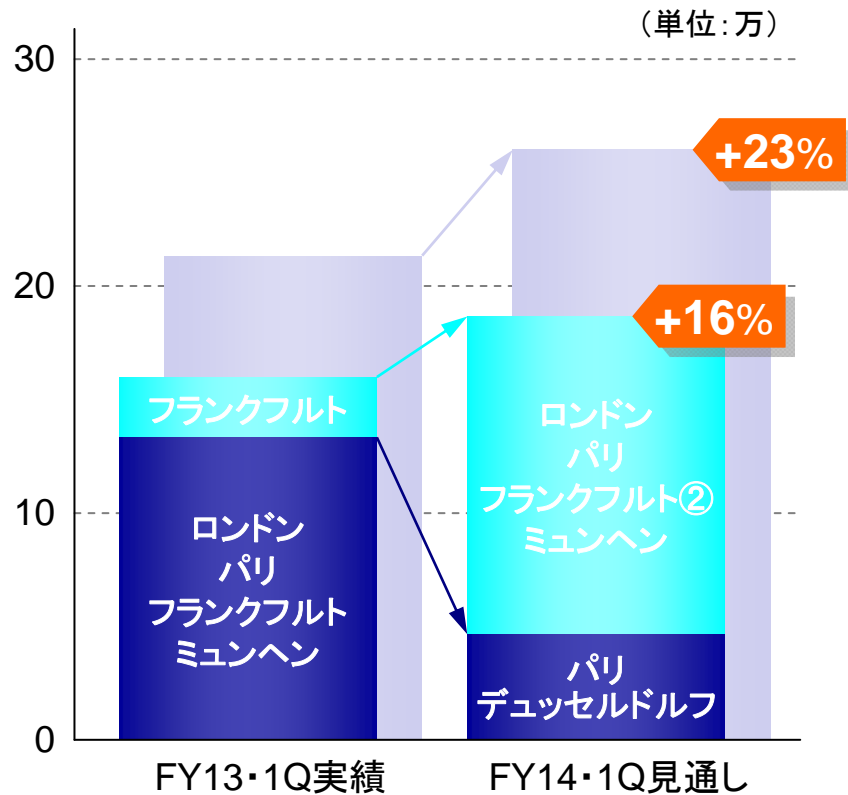
需要が増加基調、ネットワーク強化で取り込み

羽田増枠後の国際線旅客数見通し(第1四半期の状況)

堅調な需要環境のもと、首都圏発着国際線が順調にスタート

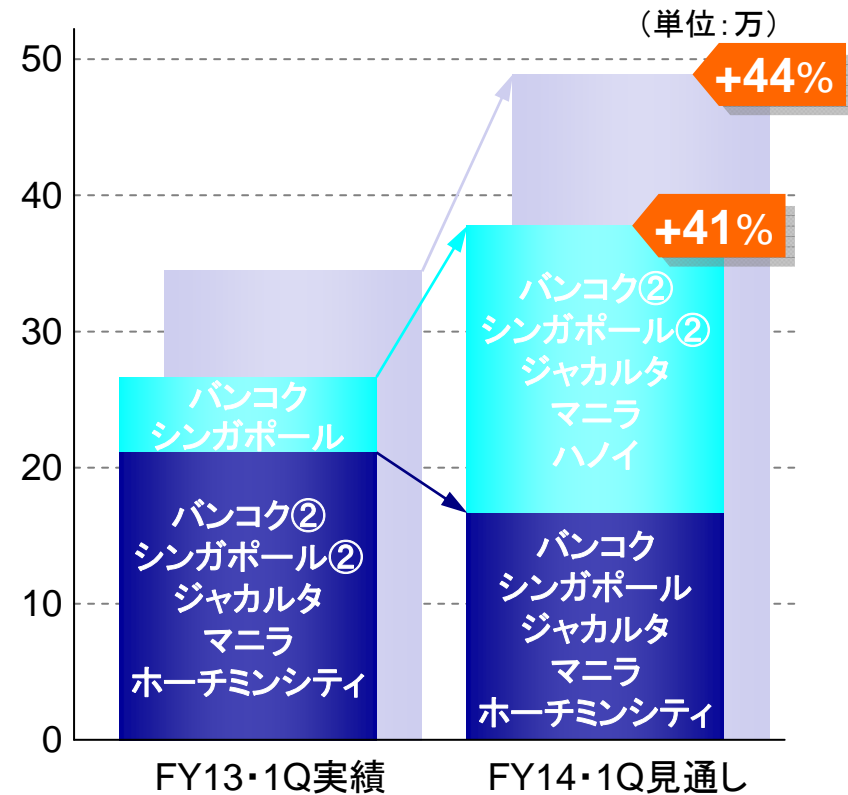
ヨーロッパ方面

- ・成田発着中心から羽田発着中心にシフト
- ・首都圏を中心とした日本発着需要を取り込み



東南アジア方面

- ・羽田便は日本発着需要をターゲット
- ・成田便は運航ダイヤ工夫(北米接続を取り込み)

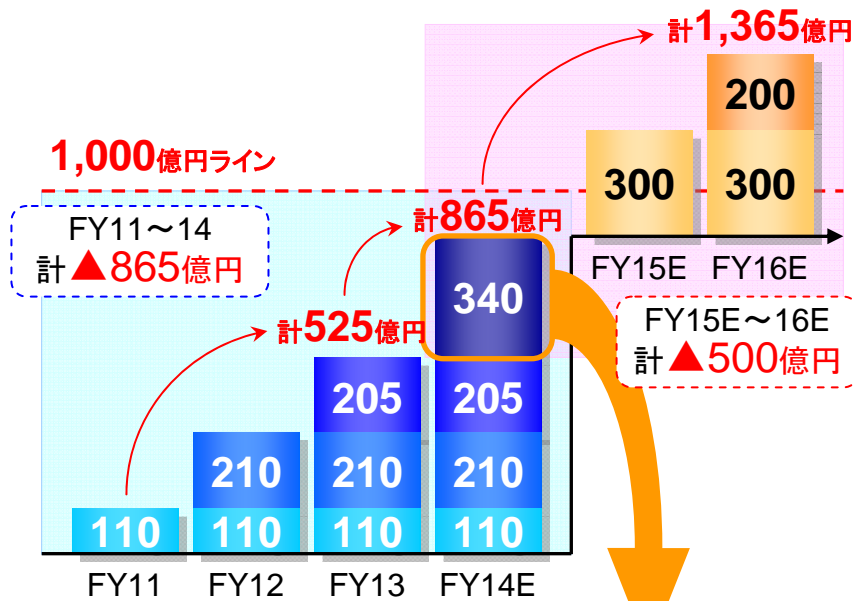


: 羽田発着便・旅客数
 : 成田発着便・旅客数
 : 提供座席数(羽田・成田計)

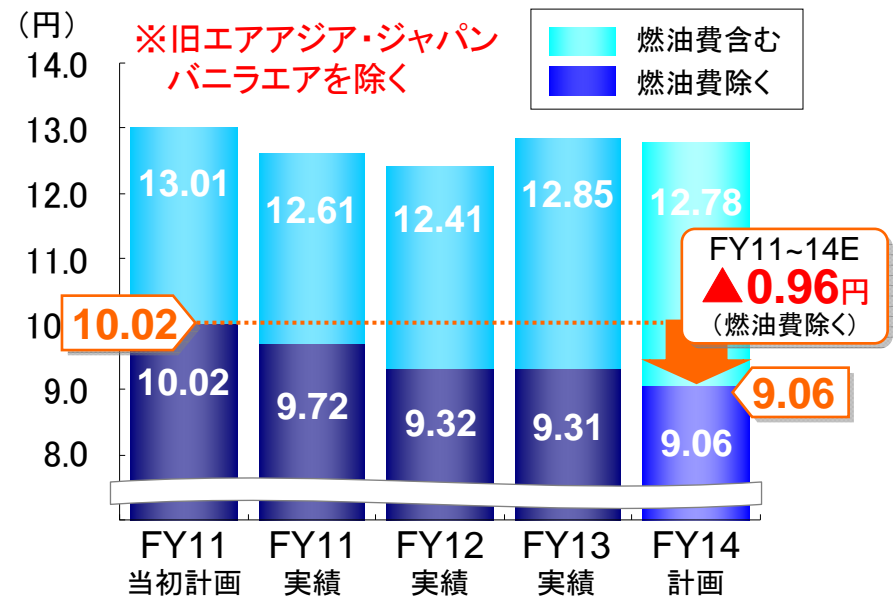
コスト構造改革・ユニットコスト推移

2014年度は総額 **▲340億円** の削減を計画（ユニットコストは2011年度当初計画から **▲0.96円** 低減）

コスト構造改革



航空事業ユニットコスト推移

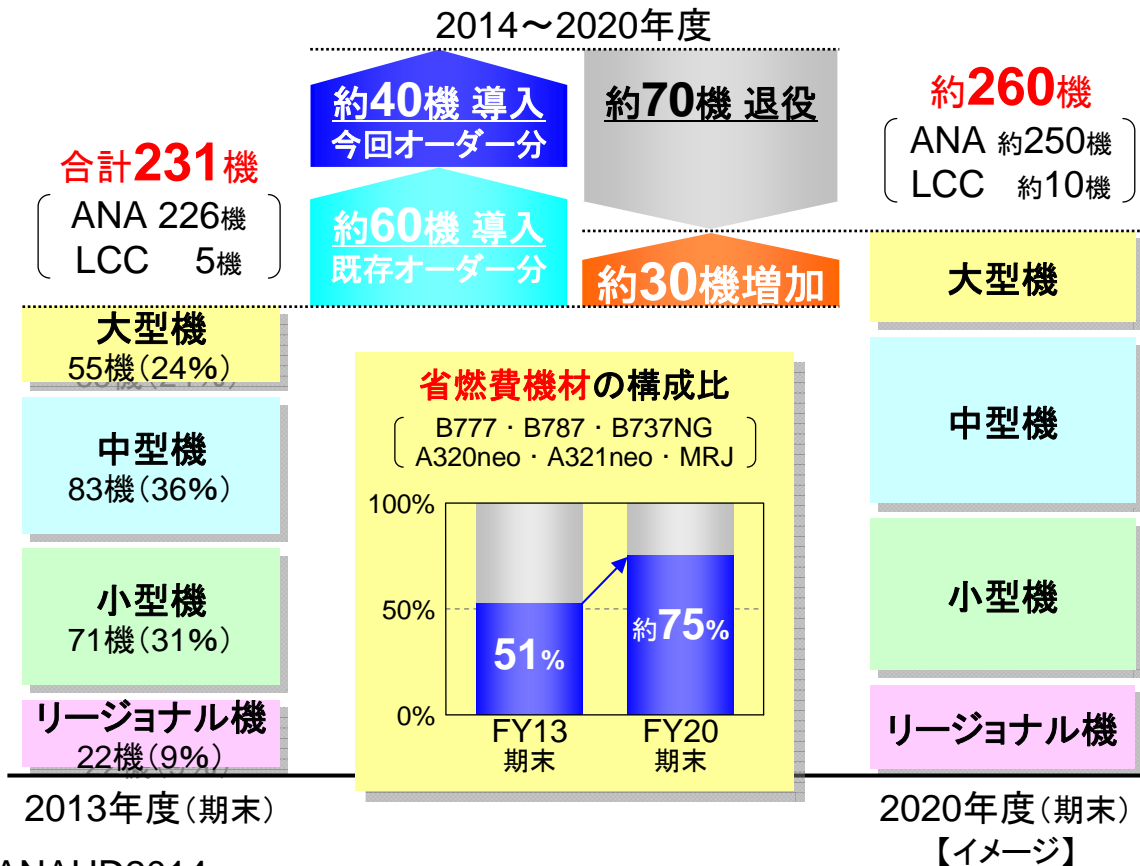


項目	FY11 実績	FY12 実績	FY13 実績	FY14計画		FY11-14 合計
				計画値	具体的な項目	
生産性向上	-	90	90	110	直接生産性の向上、間接人員の削減	290
投資適正化	-	10	10	50	システム関連費用の抑制	70
営業改革	15	30	20	35	各種販売の改革、機内サービス費の適正化	100
業務改革等	95	80	85	145	燃油費節減、調達購買の改革、施設費・整備部品外注費の適正化	405
合計	110	210	205	340		865

航空機発注状況と2020年度の機材数イメージ

15年先を見据えた中長期の成長原資並びに更新機材を安定的に確保

- ◆ 今回の機材発注(計70機)の内訳 (括弧内は受領時期)
- | | | | |
|------------|-------------------|---------|-------------------|
| B777-300ER | : 6機 (2018~19年度) | A320neo | : 7機 (2016~18年度) |
| B777-9X | : 20機 (2021~27年度) | A321neo | : 23機 (2017~23年度) |
| B787-9 | : 14機 (2017~21年度) | | |



「'14-16中期経営戦略」で策定した
設備投資額・キャッシュフロー水準を維持

- ◆ 設備投資額
年間 2,100~2,300億円
- ◆ 投資キャッシュフロー
年間 1,900~2,000億円
- ◆ フリーキャッシュフロー
合計 1,200億円(3年間)

財務の健全性を維持

【第2部】 **Ⅱ. 2014年3月期 決算 《詳細》**
 Ⅲ. 2015年3月期 業績予想 《詳細》



業績ハイライト

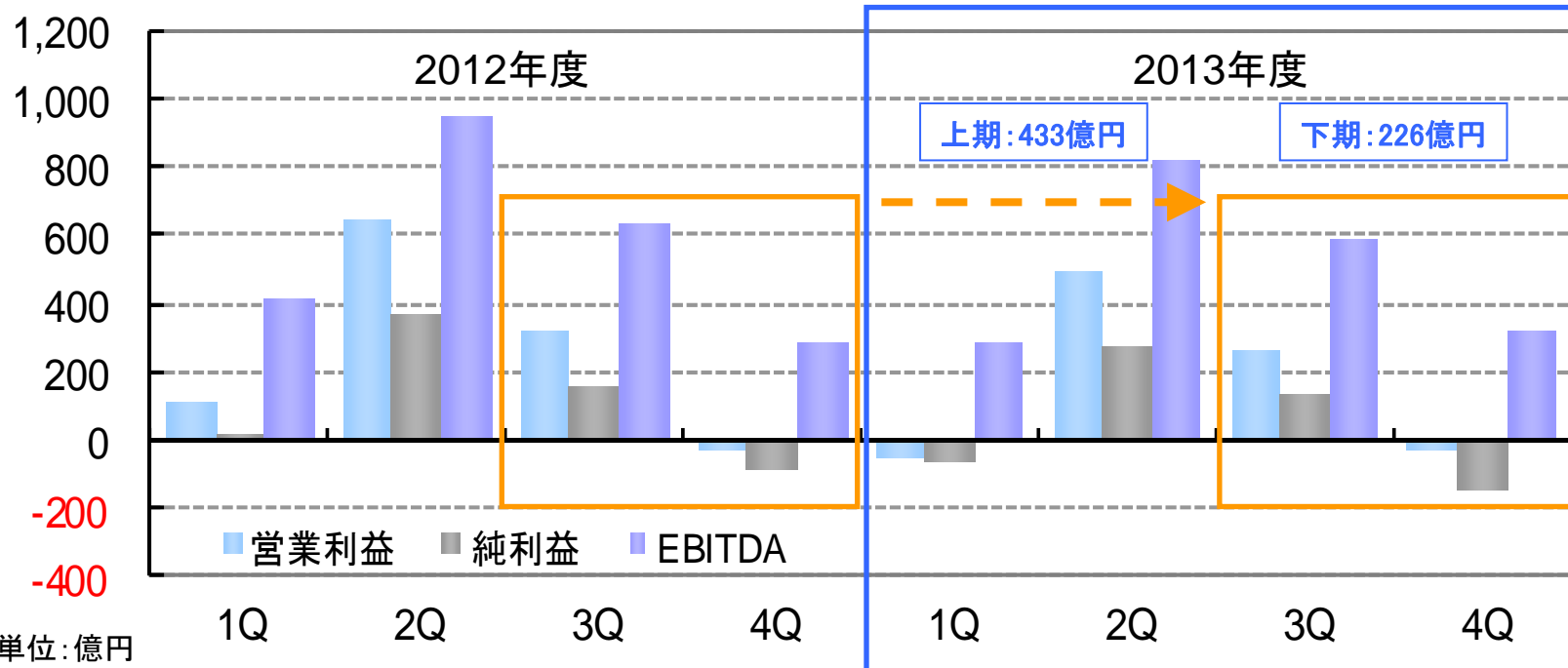
当年度と前年度各四半期の業績比較

【2013年度(連結)】

➤ 営業利益	: 659億円	(前年同期比 Δ 378億円)
➤ 当期純利益	: 188億円	(同 Δ 242億円)
➤ EBITDA	: 2,021億円	(同 Δ 255億円)
➤ ROA	: 3.2%	(同 Δ 1.9pts.)
➤ ROE	: 2.5%	(同 Δ 4.1pts.)

第4四半期のみ(1-3月期)

➤ 営業利益	Δ 30億円
➤ 当期純利益	Δ 144億円
➤ EBITDA	318億円



単位: 億円
(¥100Million)

連結決算概要

経営成績		単位: 億円 (¥100Million)	2012年度 FY12	2013年度 FY13	前年差 Difference	第4四半期 4Q/FY13	前年差 Difference
営業収入	Operating Revenues		14,835	16,010	+ 1,174	3,890	+ 375
営業費用	Operating Expenses		13,797	15,350	+ 1,552	3,920	+ 369
営業利益	Operating Income		1,038	659	△ 378	△ 30	+ 6
営業利益率	Op. Margin (%)		7.0	4.1	△ 2.9	—	—
営業外損益	Non-Op. Gains/Losses		△ 268	△ 230	+ 38	△ 76	+ 7
経常利益	Recurring Income		769	429	△ 340	△ 107	+ 14
特別損益	Extraordinary Gains/Losses		△ 60	△ 65	△ 4	△ 88	△ 34
当期純利益	Net Income		431	188	△ 242	△ 144	△ 53
少数株主損益調整前 当期純利益	Net Income Before Minority Interests		418	179	△ 238	△ 142	△ 44
その他包括利益	Other Comprehensive Income		88	87	△ 0	△ 144	△ 258
包括利益	Comprehensive Income		506	267	△ 239	△ 286	△ 303

連結決算概要

財政状態

単位：億円
(¥100Million)

		前期末 Mar 31, 2013	2013年度末 Mar 31, 2014	前年度期末差 Difference
総資産	Assets	21,372	21,736	+ 363
自己資本	Shareholders' Equity	7,667	7,460	△ 206
(自己資本のうち) 退職給付に係る調整累計額	Remeasurements of Defined Benefit Plans (Included Above)	—	△ 301	△ 301
自己資本比率	Ratio of Shareholders' Equity (%)	35.9	34.3	△ 1.6
有利子負債残高	Interest Bearing Debts	8,971	8,347	△ 623
D/Eレシオ(倍)*	Debt/Equity Ratio (times)	1.2	1.1	△ 0.1
純有利子負債残高**	Net Interest Bearing Debts	4,775	4,616	△ 159

* オフバランスリース債務額1,210億円(前期末1,368億円)を含むD/Eレシオは1.3倍(前期末1.3倍)

** 純有利子負債残高 = 有利子負債残高 - (流動資産(現金及び預金 + 有価証券))

《退職給付に関する会計基準の適用による貸借対照表上の変更点(決算短信15ページ参照)》

【負債】 当期末:「退職給付に係る負債」1,811億円(前期末:「退職給付引当金」1,307億円)

【純資産】 当期末:「退職給付に係る調整累計額」△301億円(税効果適用後)

連結決算概要

キャッシュフロー		単位: 億円 (¥100Million)	2012年度 FY12	2013年度 FY13	前年差 Difference
営業キャッシュフロー	Cash Flow from Operating Activities		1,731	2,001	+ 269
投資キャッシュフロー	Cash Flow from Investing Activities		△ 3,337	△ 649	+ 2,688
財務キャッシュフロー	Cash Flow from Financing Activities		845	△ 855	△ 1,701
現金及び現金同等物の増減額	Net Increase or Decrease		△ 755	502	+ 1,258
現金及び現金同等物の期首残高	Cash and Cash Equivalent at the beginning		2,658	1,912	} + 496 **
現金及び現金同等物の期末残高	Cash and Cash Equivalent at the end		1,912	2,409	
減価償却費	Depreciation and Amortization		1,239	1,361	+ 122
設備投資額(固定資産のみ)	Capital Expenditures		1,627	1,837	+ 209
実質フリーキャッシュフロー (3ヶ月超の定期・譲渡性預金を除く)	Substantial Free Cash Flow (excluding periodic/negotiable deposits of more than 3 months)		542	389	△ 153
EBITDA *	EBITDA		2,277	2,021	△ 255
EBITDAマージン(%)	EBITDA Margin (%)		15.4	12.6	△ 2.7

* EBITDA: 営業利益+減価償却費

** 連結範囲変更に伴う現金及び現金同等物への影響額含む

連結決算概要

セグメント別実績		単位: 億円 (¥100Million)	2012年度 FY12	2013年度 FY13	前年差 Difference	第4四半期 4Q/FY13	前年差 Difference
売上高 Revenues	航空事業	Air Transportation	12,927	13,952	+ 1,024	3,386	+ 335
	航空関連事業	Airline Related	1,781	1,896	+ 114	473	+ 8
	旅行事業	Travel Services	1,610	1,734	+ 124	399	+ 26
	商社事業	Trade and Retail	977	1,102	+ 125	275	+ 54
	報告セグメント計	Total for Reporting Segments	17,296	18,686	+ 1,389	4,535	+ 424
	その他	Others	288	301	+ 12	83	+ 7
	調整額	Adjustment	△ 2,749	△ 2,977	△ 227	△ 728	△ 56
	合計(連結)	Total	14,835	16,010	+ 1,174	3,890	+ 375
営業利益 Operating Income	航空事業	Air Transportation	891	653	△ 237	27	+ 78
	航空関連事業	Airline Related	63	27	△ 36	△ 35	△ 41
	旅行事業	Travel Services	44	44	△ 0	2	+ 0
	商社事業	Trade and Retail	28	33	+ 4	3	+ 1
	報告セグメント計	Total for Reporting Segments	1,028	758	△ 270	△ 1	+ 39
	その他	Others	10	13	+ 2	4	+ 1
	調整額	Adjustment	△ 1	△ 112	△ 110	△ 33	△ 34
	合計(連結)	Total	1,038	659	△ 378	△ 30	+ 6

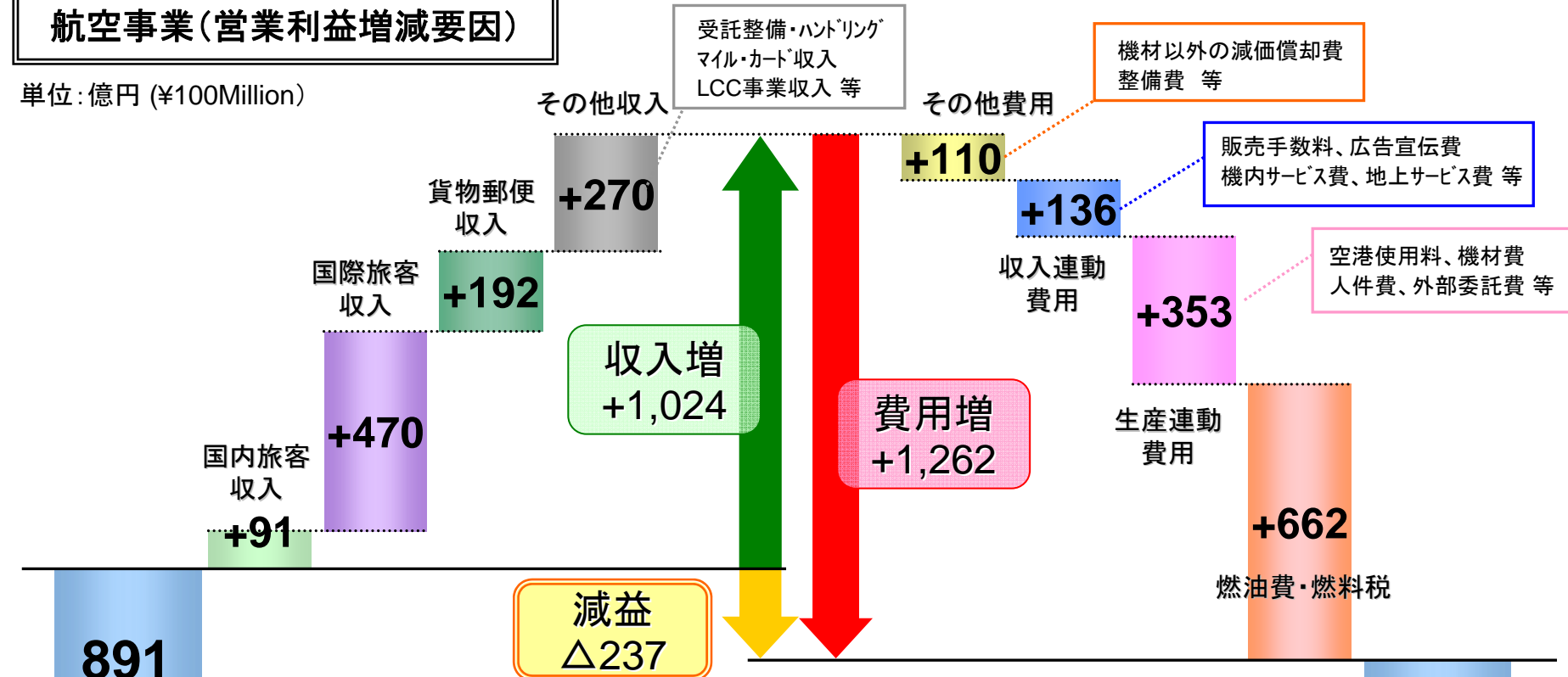
航空事業

収入・費用		単位: 億円 (¥100Million)	2012年度 FY12	2013年度 FY13	前年差 Difference	第4四半期 4Q/FY13	前年差 Difference
営業収入 Operating Revenues	国内線旅客	Domestic Passengers	6,659	6,751	+ 91	1,569	+ 70
	国際線旅客	International Passengers	3,483	3,953	+ 470	979	+ 145
	貨物郵便	Cargo and Mail	1,262	1,455	+ 192	369	+ 52
	その他	Others	1,521	1,791	+ 270	467	+ 66
	合計	Total	12,927	13,952	+ 1,024	3,386	+ 335
営業費用 Operating Expenses	燃油費・燃料税	Fuel and Fuel Tax	2,998	3,661	+ 662	919	+ 129
	空港使用料	Landing and Navigation Fees	1,021	1,082	+ 61	264	+ 10
	航空機材賃借費	Aircraft Leasing Fees	701	790	+ 88	201	+ 28
	減価償却費	Depreciation and Amortization	1,177	1,298	+ 120	336	+ 42
	整備部品・外注費	Aircraft Maintenance	719	831	+ 111	192	△ 0
	人件費	Personnel	1,723	1,676	△ 46	463	+ 5
	販売費	Sales Commission and Promotion	704	778	+ 74	196	+ 24
	外部委託費	Contracts	1,379	1,573	+ 194	395	+ 40
	その他	Others	1,609	1,605	△ 4	388	△ 24
	合計	Total	12,036	13,298	+ 1,262	3,358	+ 256
営業利益	営業利益	Operating Income	891	653	△ 237	27	+ 78
	EBITDA*	EBITDA	2,087	1,972	△ 114	364	+ 102
	EBITDAマージン	EBITDA Margin (%)	16.2	14.1	△ 2.0	10.8	+ 2.2

航空事業

航空事業(営業利益増減要因)

単位: 億円 (¥100Million)



FY12
営業利益

コスト構造改革 進捗状況	年度計画 (修正)	年度実績	計画差
生産性向上	90	90	0
投資適正化	10	10	0
営業改革	25	20	Δ 5
業務改革等	75	85	+ 10
計	200	205	+ 5

FY13
営業利益

航空事業

国内旅客事業(実績)		2012年度 FY12	2013年度 FY13	前年比 % Y/Y	第4四半期 4Q/FY13	前年比 % Y/Y
座席キロ(百万)	Available Seat Km (million)	58,508	61,046	+ 4.3	14,623	+ 4.8
旅客キロ(百万)	Revenue Passenger Km (million)	36,333	37,861	+ 4.2	9,052	+ 6.7
旅客数(千人)	Passengers (thousands)	41,089	42,668	+ 3.8	10,102	+ 6.1
座席利用率(%)	Load Factor (%)	62.1	62.0	△ 0.1*	61.9	+ 1.0*
旅客収入(億円)	Passenger Revenues (¥100million)	6,659	6,751	+ 1.4	1,569	+ 4.7
ユニットレベニュー(円)	Unit Revenue (¥/ASK)	11.4	11.1	△ 2.8	10.7	△ 0.1
イールド(円)	Yield (¥/RPK)	18.3	17.8	△ 2.7	17.3	△ 1.8
単価(円)	Unit Price (¥/Passenger)	16,208	15,823	△ 2.4	15,536	△ 1.3

*座席利用率のみ前年差

※ 旧エアアジア・ジャパン/バニラエアは上記に含みませんが、当年度における輸送実績は座席キロは831百万席キロ(前年比 +38.7%)、旅客キロは564百万人キロ(前年比 +47.5%)、旅客数は484千人(前年比 +42.4%)、座席利用率は67.9% (前年差 +4.0%) となりました。

航空事業

国内旅客事業(事業動向)

(旧エアアジア・ジャパン、バニラエア含まず)

2013年度 収入増減要因

✓生産量増、プロモーション運賃の拡大設定により増収

《主な旅客数要因》

羽田増枠	+130 (+35)
生産量増	+40 (+10)
他社生産量増	△70 (△15)
株主優待運賃関連	+40 (-)
B787運航停止	△25 (-)
B787運航再開	+40 (+40)
需要喚起策等	+95 (+20)

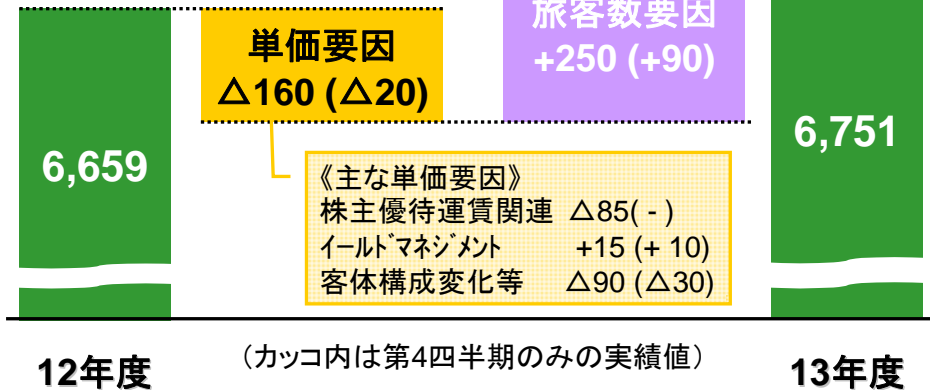
単位: 億円 (¥100Million)

単価要因
△160 (△20)

《主な単価要因》

株主優待運賃関連	△85 (-)
イーлтマネジメント	+15 (+10)
客体構成変化等	△90 (△30)

旅客数要因
+250 (+90)

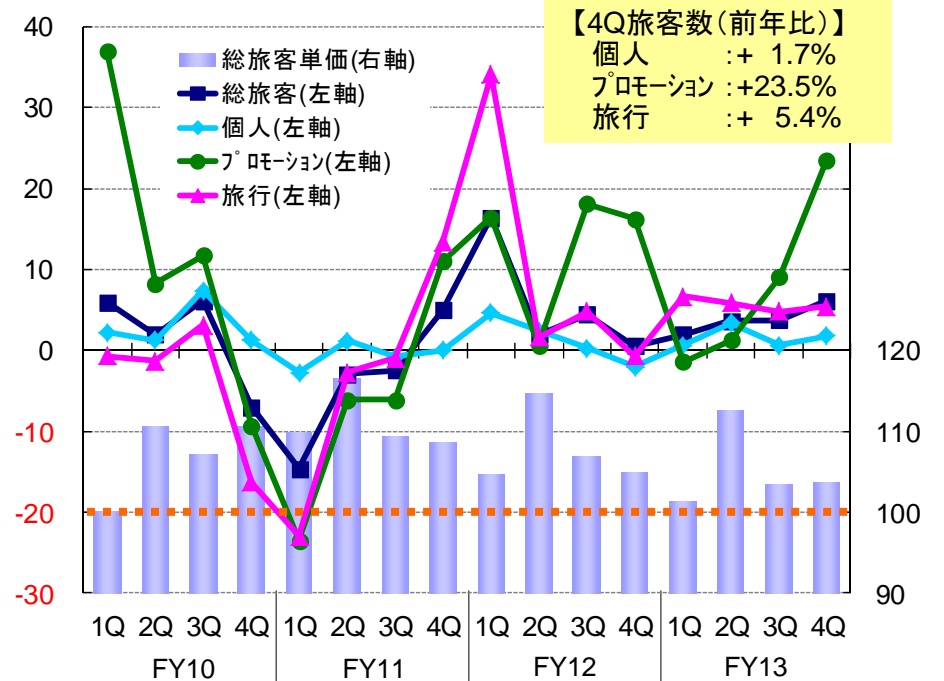


四半期別 客体別旅客数・単価推移

✓堅調なプレジャー需要を積極的に取込む

旅客数 (前年比: %)

単価 (指数: 10年度 1Q=100)



当四半期の主なトピックス:

- 2014年サマーダイヤ 国内線路便計画 (1月22日付)
- スターフライヤーとの提携拡大 (1月10日付)、アイベックスエアラインズとの提携拡大 (1月22日付)

航空事業

国際旅客事業(実績)		2012年度 FY12	2013年度 FY13	前年比 % Y/Y	第4四半期 4Q/FY13	前年比 % Y/Y
座席キロ(百万)	Available Seat Km (million)	37,947	41,451	+ 9.2	10,543	+ 8.4
旅客キロ(百万)	Revenue Passenger Km (million)	28,545	30,613	+ 7.2	7,745	+ 8.3
旅客数(千人)	Passengers (thousands)	6,276	6,336	+ 1.0	1,579	+ 4.8
座席利用率(%)	Load Factor (%)	75.2	73.9	△ 1.4*	73.5	△ 0.0*
旅客収入(億円)	Passenger Revenues (¥100million)	3,483	3,953	+ 13.5	979	+ 17.5
ユニットレベニュー(円)	Unit Revenue (¥/ASK)	9.2	9.5	+ 3.9	9.3	+ 8.4
イールド(円)	Yield (¥/RPK)	12.2	12.9	+ 5.8	12.6	+ 8.4
単価(円)	Unit Price (¥/Passenger)	55,495	62,393	+ 12.4	62,005	+ 12.1

*座席利用率のみ前年差

※ 旧エアアジア・ジャパン/バニラエアは上記に含みませんが、当年度における輸送実績は
座席キロは496百万席キロ(前年比 +337.7%)、旅客キロは361百万人キロ(前年比 +414.7%)、
旅客数は238千人(前年比 +294.6%)、座席利用率は72.7% (前年差 +10.9%) となりました。

航空事業

国際旅客事業(事業動向)

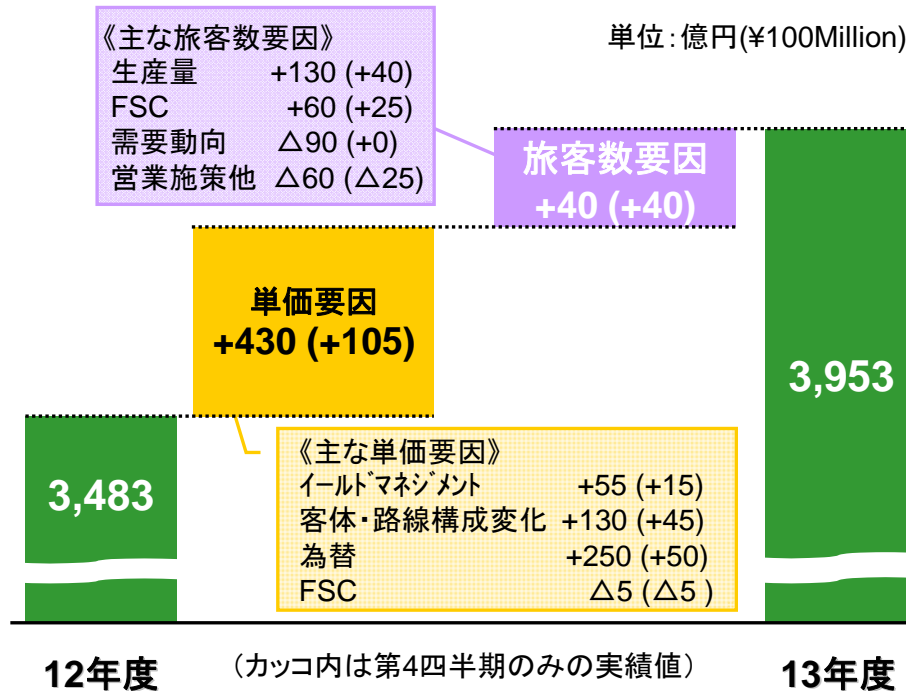
(旧エアアジア・ジャパン、バニラエアを含まず)

2013年度 収入増減要因

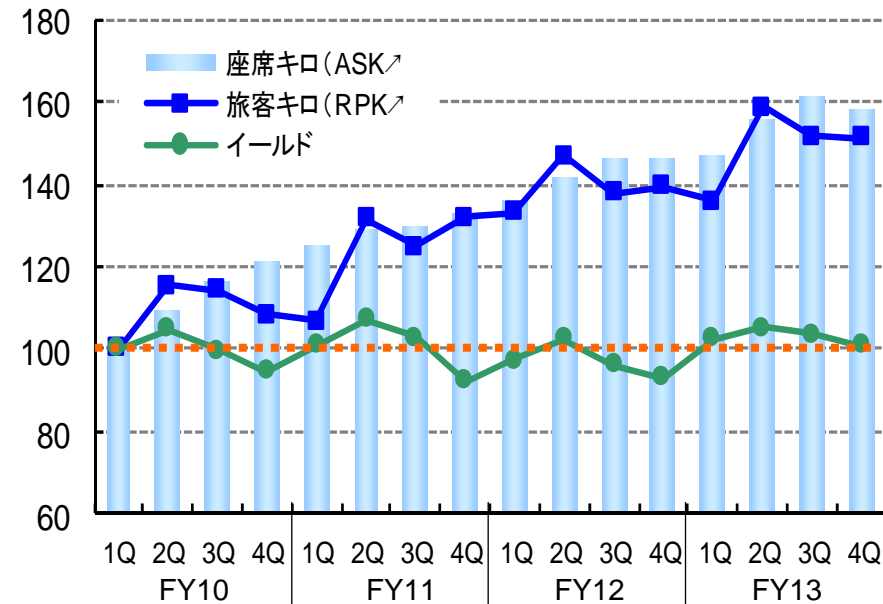
✓ 円安効果に加え、イールドマネジメント強化により増収

四半期別 座席キロ・旅客キロ・イールド推移

✓ 旅客キロは堅調に推移、イールドは前年を上回る



指数: 10年度 1Q=100



当四半期の主なトピックス:

- ➔ 燃油特別付加運賃の改定 (日本=欧米(ハワイ除く)23,500円→25,000円など、4月1日購入分より) (2月7日付)
- ➔ 羽田空港におけるサービス拡大(乗り継ぎ専用バス運行、ラウンジの拡張・新設など) (2月28日付)

航空事業

国際旅客事業(事業動向)

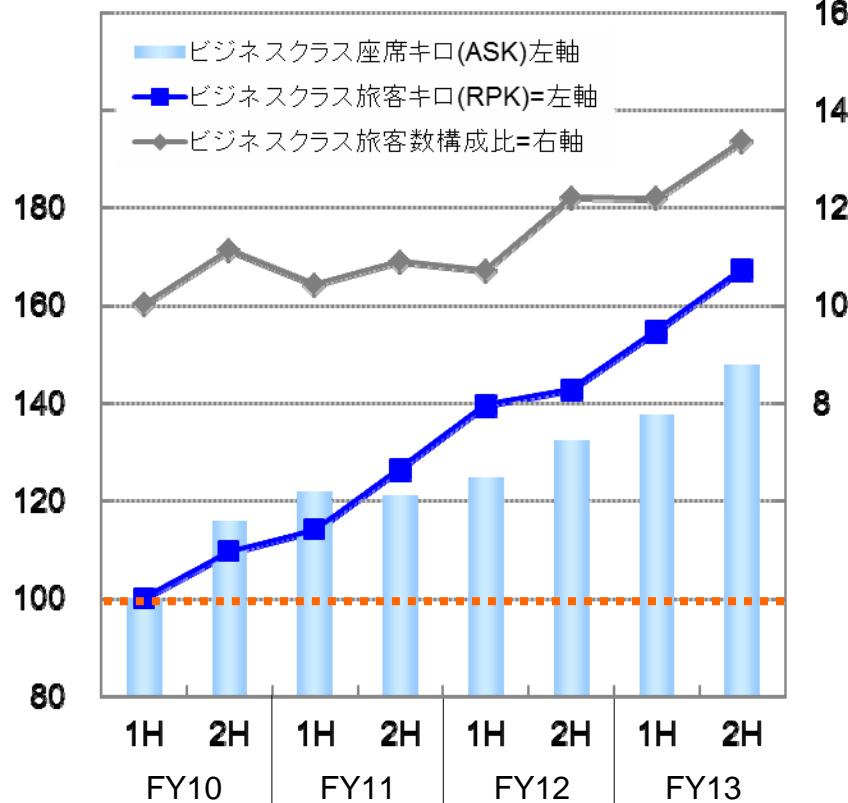
(旧エアアジア・ジャパン、バニラエアを含まず)

ビジネスクラス座席キロ・旅客キロ・構成比推移

✓ 旅客キロが座席キロを上回り、旅客数構成比も上昇

指数: FY10 1H=100

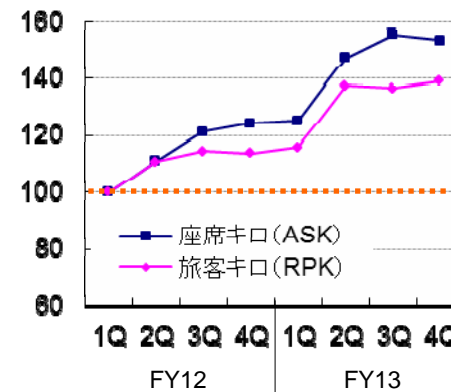
構成比(%)



四半期別 国際線方面別 輸送実績推移

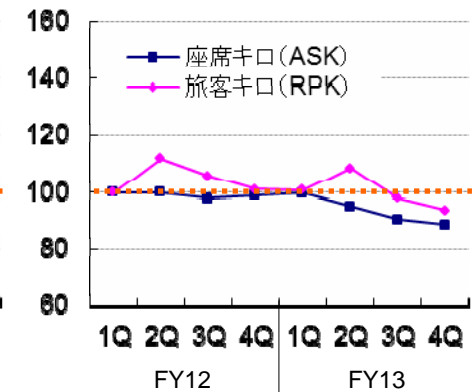
✓ 各方面とも旅客キロは堅調に推移

【北米】

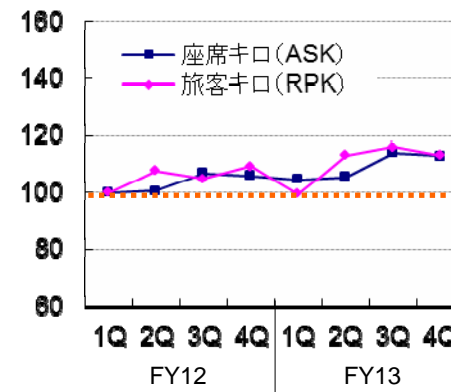


【欧州】

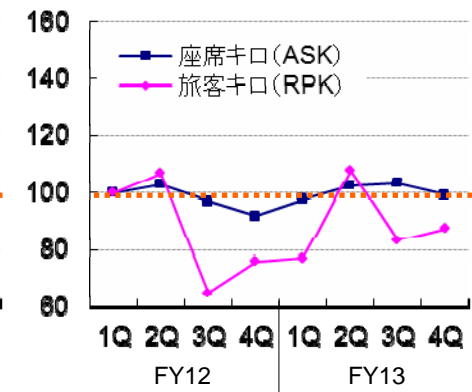
指数: FY12 1Q=100



【アジア】



【中国】



航空事業

国内貨物事業(実績)		2012年度 FY12	2013年度 FY13	前年比 % Y/Y	第4四半期 4Q/FY13	前年比 % Y/Y	
国内貨物 Domestic Cargo	有効貨物トンキロ(百万)	Available Ton Km (million)	1,905	1,973	+ 3.6	469	+ 7.1
	有償貨物トンキロ(百万)	Revenue Ton Km (million)	460	473	+ 2.8	115	+ 11.3
	貨物輸送重量(千トン)	Revenue Ton (thousand tons)	463	477	+ 2.9	115	+ 11.0
	貨物重量利用率(%)	Load Factor (%)	24.2	24.0	△ 0.2*	24.7	+ 0.9*
	貨物収入(億円)	Cargo Revenues (¥100million)	322	321	△ 0.4	77	+ 6.5
	ユニットレベニュー(円)	Unit Revenue (¥/ATK)	16.9	16.3	△ 3.8	16.5	△ 0.6
	重量単価(円/kg)	Unit Price (¥/kg)	70	67	△ 3.2	67	△ 4.1
【参考】 上記内数 国内 フレイター Domestic Freighter	有効貨物トンキロ(百万)	Available Ton Km (million)	29	24	△ 16.7	2	△ 68.3
	有償貨物トンキロ(百万)	Revenue Ton Km (million)	11	8	△ 30.0	0	△ 73.6
	貨物輸送重量(千トン)	Revenue Ton (thousand tons)	10	8	△ 18.9	0	△ 68.8
	貨物重量利用率(%)	Load Factor (%)	38.2	32.1	△ 6.1*	31.3	△ 6.2*
	貨物収入(億円)	Cargo Revenues (¥100million)	12	10	△ 14.6	0	△ 67.5
	ユニットレベニュー(円)	Unit Revenue (¥/ATK)	41.5	42.5	+ 2.5	41.6	+ 2.8
	重量単価(円/kg)	Unit Price (¥/kg)	119	126	+ 5.2	124	+ 4.3

*貨物重量利用率のみ前年差

航空事業

国際貨物事業(実績)		2012年度 FY12	2013年度 FY13	前年比 % Y/Y	第4四半期 4Q/FY13	前年比 % Y/Y	
国際貨物 International Cargo	有効貨物トンキロ(百万)	Available Ton Km (million)	3,958	4,530	+ 14.5	1,157	+ 16.3
	有償貨物トンキロ(百万)	Revenue Ton Km (million)	2,469	2,937	+ 18.9	771	+ 20.7
	貨物輸送重量(千トン)	Revenue Ton (thousand tons)	621	710	+ 14.3	181	+ 15.4
	貨物重量利用率(%)	Load Factor (%)	62.4	64.8	+ 2.4*	66.7	+ 2.5*
	貨物収入(億円)	Cargo Revenues (¥100million)	865	1,047	+ 21.0	270	+ 20.3
	ユニットレベニュー(円)	Unit Revenue (¥/ATK)	21.9	23.1	+ 5.7	23.4	+ 3.5
	重量単価(円/kg)	Unit Price (¥/kg)	139	147	+ 5.8	149	+ 4.3
	【参考】 上記内数 国際 フレighter International Freighter	有効貨物トンキロ(百万)	Available Ton Km (million)	852	966	+ 13.4	238
有償貨物トンキロ(百万)		Revenue Ton Km (million)	509	599	+ 17.6	153	+ 18.7
貨物輸送重量(千トン)		Revenue Ton (thousand tons)	289	324	+ 12.3	82	+ 13.7
貨物重量利用率(%)		Load Factor (%)	59.8	62.1	+ 2.2*	64.2	+ 0.4*
貨物収入(億円)		Cargo Revenues (¥100million)	326	387	+ 18.6	97	+ 14.8
ユニットレベニュー(円)		Unit Revenue (¥/ATK)	38.3	40.1	+ 4.6	41.0	△ 2.6
重量単価(円/kg)		Unit Price (¥/kg)	113	119	+ 5.6	119	+ 1.0

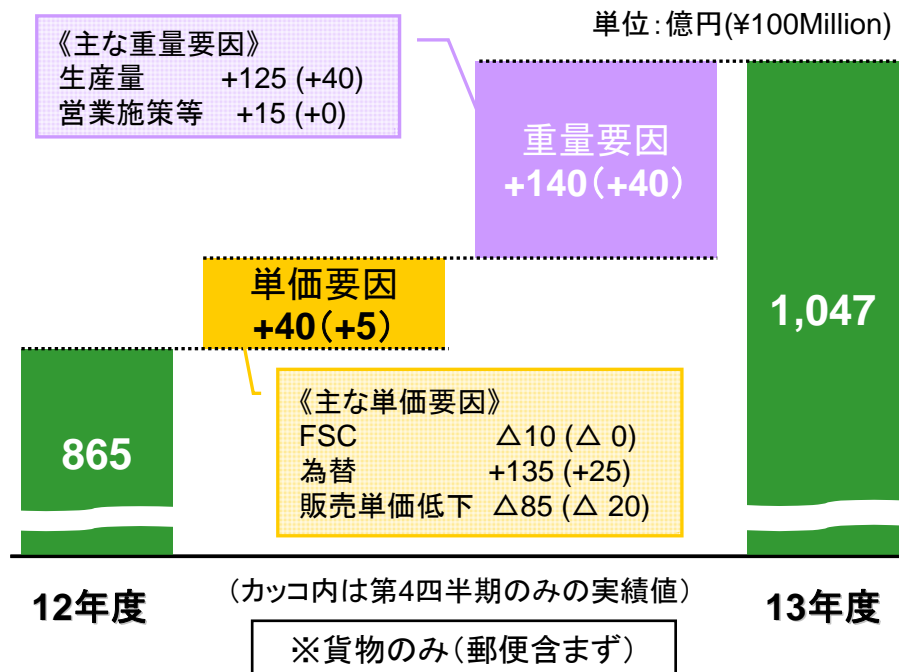
*貨物重量利用率のみ前年差

航空事業

国際貨物事業(事業動向)

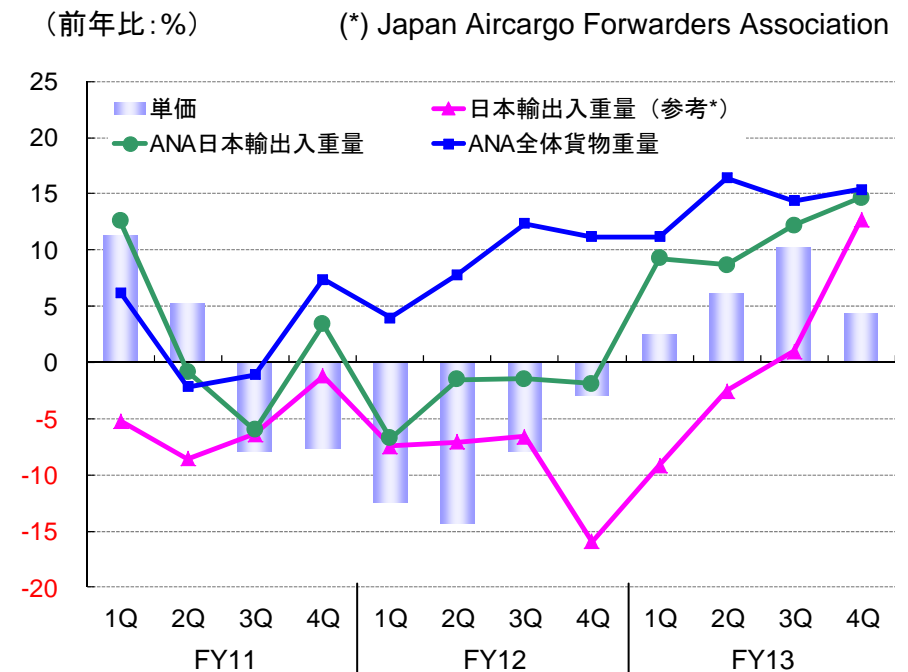
2013年度 収入増減要因

✓ 単価改善と重量増加(生産量拡大)で増収



四半期別 輸送実績・単価推移

✓ 着実に需要取込みを拡大、日本輸出入は回復基調



当四半期の主なトピックス:

- 燃油特別付加運賃の改定 [長距離(日本=欧米・中東等) 127円→134円など、2月1日発行分より] (1月21日付)
- 燃油特別付加運賃の改定 [長距離(日本=欧米・中東等) 134円→127円など、3月1日発行分より] (2月17日付)

航空事業以外のセグメント

セグメント別実績

単位: 億円 (¥100Million)

		航空関連事業			旅行事業		
		2012年度 FY12	2013年度 FY13	前年差 Difference	2012年度 FY12	2013年度 FY13	前年差 Difference
売上高	Revenues	1,781	1,896	+ 114	1,610	1,734	+ 124
営業利益	Op. Income	63	27	△ 36	44	44	△ 0
減価償却費	Depreciation and Amortization	30	32	+ 2	0	0	△ 0
EBITDA*	EBITDA	94	60	△ 34	45	44	△ 0
EBITDAマージン	EBITDA Margin (%)	5.3	3.2	△ 2.1	2.8	2.6	△ 0.3
		商社事業			その他		
		2012年度 FY12	2013年度 FY13	前年差 Difference	2012年度 FY12	2013年度 FY13	前年差 Difference
売上高	Revenues	977	1,102	+ 125	288	301	+ 12
営業利益	Op. Income	28	33	+ 4	10	13	+ 2
減価償却費	Depreciation and Amortization	8	7	△ 1	2	1	△ 0
EBITDA*	EBITDA	37	40	+ 2	13	15	+ 2
EBITDAマージン	EBITDA Margin (%)	3.8	3.7	△ 0.2	4.7	5.2	+ 0.5

Intentionally Blank

2015年3月期 通期業績予想

連結業績予想

単位: 億円 (¥100Million)

		2013年度 FY13	2014年度 FY14(E)	前年差 Difference
営業収入	Operating Revenues	16,010	17,000	+ 989
営業費用	Operating Expenses	15,350	16,150	+ 799
営業利益	Operating Income	659	850	+ 190
営業利益率(%)	Op. Margin (%)	4.1	5.0	+ 0.9
経常利益	Recurring Income	429	550	+ 120
当期純利益	Net Income	188	350	+ 161

2015年3月期 通期業績予想

セグメント別業績予想

単位: 億円
(¥100Million)2013年度
FY132014年度
FY14(E)前年差
Difference

		2013年度 FY13	2014年度 FY14(E)	前年差 Difference	
売上高 Revenues	航空事業	Air Transportation	13,952	15,000	+1,047
	航空関連事業	Airline Related	1,896	1,980	+ 83
	旅行事業	Travel Service	1,734	1,750	+ 15
	商社事業	Trade and Retail	1,102	1,120	+ 17
	報告セグメント計	Total for Reporting Segments	18,686	19,850	+ 1,163
	その他	Other	301	300	△ 1
	調整額	Adjustment	△ 2,977	△3,150	△ 172
	合計(連結)	Total	16,010	17,000	+ 989
営業利益 Operating Income	航空事業	Air Transportation	653	780	+ 126
	航空関連事業	Airline Related	27	65	+ 37
	旅行事業	Travel Service	44	50	+ 5
	商社事業	Trade and Retail	33	35	+ 1
	報告セグメント計	Total for Reporting Segments	758	930	+ 171
	その他	Other	13	10	△ 3
	調整額	Adjustment	△ 112	△ 90	+ 22
	合計(連結)	Total	659	850	+ 190

2015年3月期 通期業績予想

航空事業 収入・費用予想

単位: 億円
(¥100Million)

		2013年度 FY13	2014年度 FY14(E)	前年差 Difference
営業収入 Operating Revenues	国内線旅客 Domestic Passengers	6,751	6,920	+ 168
	国際線旅客 International Passengers	3,953	4,535	+ 581
	貨物郵便 Cargo and Mail	1,455	1,685	+ 229
	その他 Others	1,791	1,860	+ 68
	合計 Total	13,952	15,000	+ 1,047
営業費用 Operating Expenses	燃油費・燃料税 Fuel and Fuel Tax	3,661	4,155	+ 493
	燃油費以外 Non-Fuel Cost	9,636	10,065	+ 428
	合計 Total	13,298	14,220	+ 921
営業利益	営業利益 Operating Income	653	780	+ 126

2015年3月期 通期業績予想

《旅客事業》 計画前提

(バニラエア/旧エアアジア・ジャパンを含まず)

		国内旅客 Domestic Passengers			国際旅客 International Passengers		
		上期 1H(E)	下期 2H(E)	2014年度 FY14(E)	上期 1H(E)	下期 2H(E)	2014年度 FY14(E)
座席キロ	Available Seat km	△ 2.0	+ 0.5	△ 0.8	+ 22.1	+ 15.6	+ 18.8
旅客キロ	Revenue Passenger km	+ 0.8	+ 0.2	+ 0.5	+ 16.2	+ 14.7	+ 15.4
旅客数	Passengers	+ 0.4	△ 0.1	+ 0.2	+ 13.4	+ 16.1	+ 14.8
座席利用率(%) *	Load Factor (%)	62.6 (+ 1.7)	63.0 (△ 0.2)	62.8 (+ 0.8)	71.1 (△ 3.6)	72.4 (△ 0.5)	71.8 (△ 2.1)
ユニットレベニュー(円)**	Unit Revenue (¥/ASK)	11.5 (+ 3.9)	11.3 (+ 2.6)	11.4 (+ 3.3)	9.5 (△ 3.0)	9.0 (△ 4.0)	9.2 (△ 3.4)
旅客イールド(円)**	Yield (¥/RPK)	18.4 (+ 1.1)	18.0 (+ 2.9)	18.2 (+ 2.0)	13.3 (+ 2.0)	12.4 (△ 3.3)	12.8 (△ 0.6)
単価(円)**	Unit Price (¥/Passengers)	16,349 (+ 1.5)	16,018 (+ 3.1)	16,184 (+ 2.3)	64,778 (+ 4.5)	60,005 (△ 4.4)	62,365 (△ 0.0)

数値は前年比表示

* 実数値・(前年差)表示

** 実数値・(前年比)表示

2015年3月期 通期業績予想

《貨物事業》 計画前提

数値は前年比表示

* 実数値・(前年差)表示

** 実数値・(前年比)表示

		国内貨物 Domestic Cargo			国際貨物 International Cargo		
		上期 1H(E)	下期 2H(E)	2014年度 FY14(E)	上期 1H(E)	下期 2H(E)	2014年度 FY14(E)
全体 Total	有効貨物トンキロ Available Ton km	△ 4.4	+ 3.5	△ 0.5	+ 26.3	+ 15.5	+ 20.6
	有償貨物トンキロ Revenue Ton km	+ 11.2	△ 1.1	+ 4.6	+ 19.2	+ 13.1	+ 15.9
	貨物輸送重量 Revenue Ton	+ 9.5	△ 2.2	+ 3.3	+ 21.3	+ 12.8	+ 16.8
	重量利用率(%) * Load Factor (%)	25.5 (+ 3.6)	24.9 (△ 1.2)	25.2 (+ 1.2)	59.5 (△ 3.5)	65.2 (△ 1.4)	62.3 (△ 2.5)
	ユニットレベニュー (円)** Unit Revenue (¥/ATK)	16.4 (+ 7.8)	17.4 (+ 0.0)	16.9 (+ 3.9)	22.2 (△ 1.9)	23.9 (+ 1.6)	23.1 (△ 0.2)
	単価 (円)** Unit Price (¥/RT)	64 (△ 5.8)	70 (+ 5.9)	67 (+ 0.1)	150 (+ 2.2)	154 (+ 4.0)	152 (+ 3.1)
	【参考】 上記内数 フレighter Freighter	有効貨物トンキロ Available Ton km	—	—	—	+ 29.9	+ 15.9
有償貨物トンキロ Revenue Ton km		—	—	—	+ 48.5	+ 30.2	+ 38.8
貨物輸送重量 Revenue Ton		—	—	—	+ 28.1	+ 21.9	+ 26.8
重量利用率(%) * Load Factor (%)		—	—	—	69.5 (+ 8.7)	71.0 (+ 7.8)	70.3 (+ 8.2)
ユニットレベニュー (円)** Unit Revenue (¥/ATK)		—	—	—	44.6 (+ 11.4)	45.4 (+ 13.2)	45.0 (+ 12.3)
単価 (円)** Unit Price (¥/RT)		—	—	—	129 (+ 7.2)	130 (+ 9.7)	129 (+ 8.5)

(参考)2015年3月期 通期業績予想

連結バランスシート(計画)		2013年度末 Mar 31, 2014	2014年度末 Mar 31, 2015(E)	前期末差 Difference
	単位: 億円 (¥100Million)			
総資産	Assets	21,736	21,890	+ 153
自己資本	Shareholders' Equity	7,460	7,720	+ 259
自己資本比率	Ratio of Shareholders' Equity (%)	34.3	35.3	+ 0.9
有利子負債残高 *	Interest Bearing Debts	8,347	8,130	△ 217
ROA(%)	ROA(%)	3.2	4.0	+ 0.8
ROE(%)	ROE(%)	2.5	4.6	+ 2.1

* 2014年度末オフバランスリース債務額: 970億円(予定)

連結キャッシュフロー(計画)		2013年度 FY13	2014年度 FY14(E)	前年差 Difference
	単位: 億円 (¥100Million)			
当期純利益	Net Income	188	350	+ 161
減価償却費	Depreciation and Amortization	1,361	1,420	+ 58
リース元本相当額	Principal Payment for Aircraft Lease	141	150	+ 8
営業キャッシュフロー *	Cash Flow from Operating Activities	2,143	2,140	△ 3
設備投資額	Capital Expenditures	△ 2,070	△ 2,360	△ 289
投資キャッシュフロー**	Cash Flow from Investing Activities	△ 1,593	△ 1,940	△ 346
フリーキャッシュフロー	Free Cash Flow	549	200	△ 349
財務キャッシュフロー *	Cash Flow from Financing Activities	△ 1,013	△ 550	+ 463
EBITDA (営業利益+減価償却費)	EBITDA	2,021	2,270	+ 248
EBITDA マージン(%)	EBITDA Margin(%)	12.6	13.4	+ 0.7

* 本表の営業キャッシュフロー、財務キャッシュフローには、オフバランスリース元本償還相当額を含む

©ANAHD2014 ** 本表の投資キャッシュフローには、定期預金、譲渡性預金への預け入れ相当額は含まない

IV. 補足資料

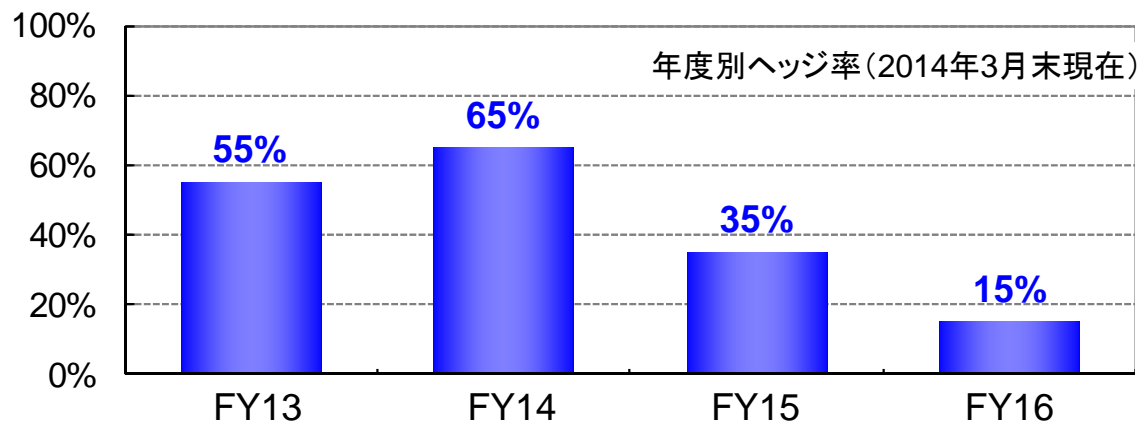


補足資料

燃油

《2014年度業績予想前提値》

ドバイ原油:US\$107/bbl、シンガポールケロシン:US\$125/bbl

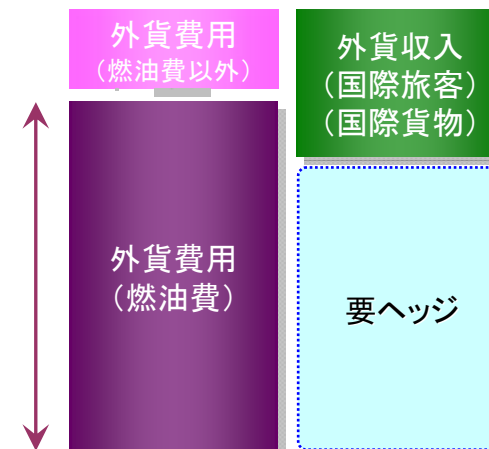
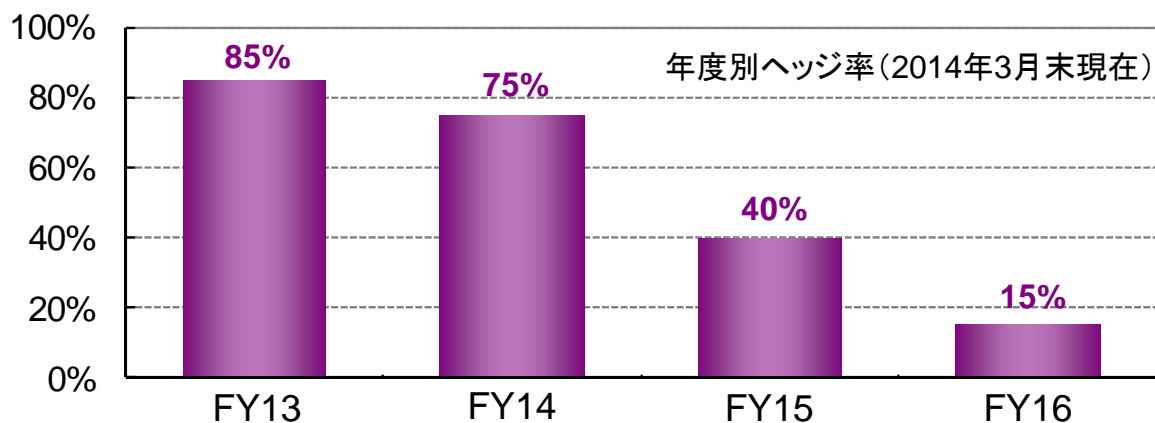


(下記感応度はヘッジ効果を含まず)



為替

《2014年度業績予想前提値》 US\$:105円/\$



補足資料

2013年度 為替変動の収支影響

営業損益ベース／ヘッジ効果込み

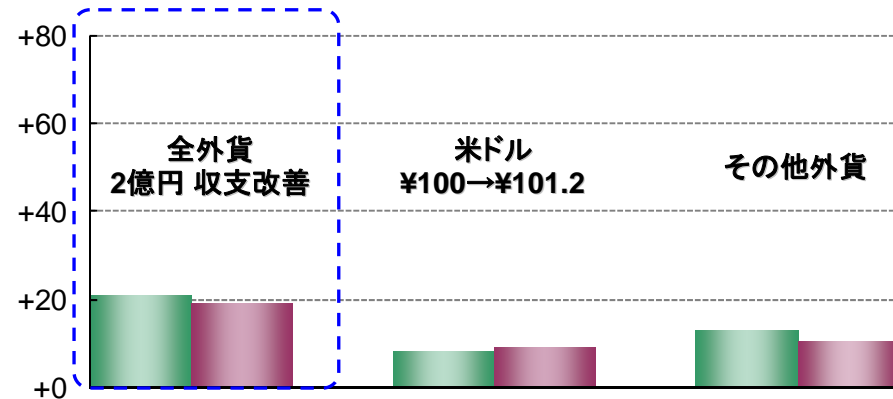
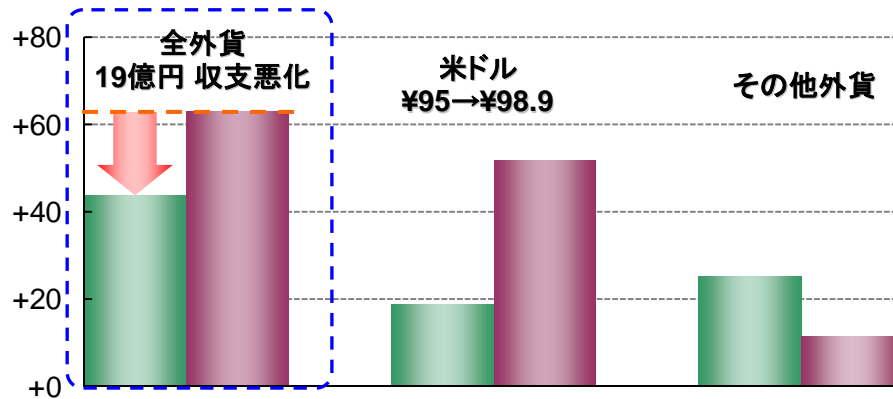
単位：億円

収入

費用

上期（4月30日付 業績予想前提レート vs. 期間加重平均実績）

下期（10月30日付 業績予想修正レート vs. 期間加重平均実績）

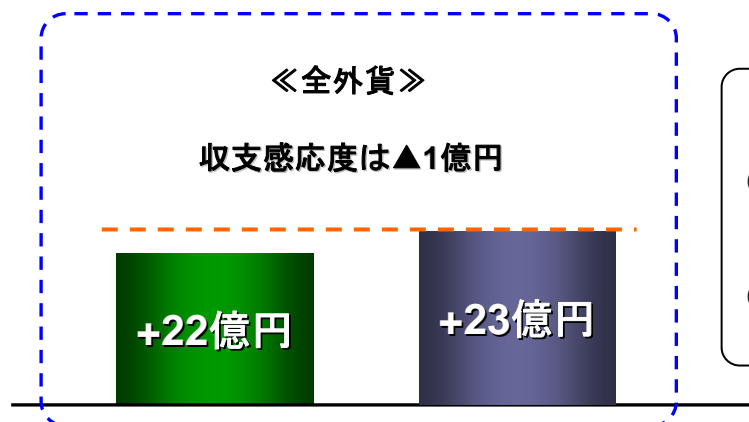


2014年度 為替変動による収支感応度

単位：億円(年度ベース)

収入

費用



《感応度算定の前提条件》

- ① 年度期初における収入・費用計画に基づき、US\$は1円の円安変動、他外貨はUS\$と同等程度(1円/105円=約1%)の円安変動として計算
- ② 燃油費変動は、為替ヘッジ率75%(2014年3月末現在)に基づき、ヘッジ効果を含めて計算

補足資料

国際旅客 方面別実績		2013年度 構成比 FY13 Composition	前年差 Difference	第4四半期 構成比 4Q/FY13 Composition	前年差 Difference
(バニラエア/旧エアアジア・ジャパンを含まず)					
旅客収入 Revenue	北米 North America	32.2	+ 3.6	33.5	+ 4.1
	欧州 Europe	19.5	△ 1.7	17.5	△ 1.0
	中国 China	15.9	△ 0.8	15.7	△ 0.3
	アジア Asia	28.2	△ 0.5	29.3	△ 2.0
	リゾート Resort	4.2	△ 0.6	4.0	△ 0.8
座席キロ ASK	北米 North America	35.6	+ 5.1	37.0	+ 4.5
	欧州 Europe	18.1	△ 2.8	16.9	△ 3.5
	中国 China	12.9	△ 0.8	12.5	△ 0.1
	アジア Asia	28.7	△ 0.9	29.2	△ 0.5
	リゾート Resort	4.7	△ 0.6	4.5	△ 0.5
旅客キロ RPK	北米 North America	35.9	+ 3.9	37.3	+ 4.2
	欧州 Europe	18.6	△ 2.2	17.2	△ 2.9
	中国 China	10.4	△ 0.5	10.1	+ 0.6
	アジア Asia	29.6	△ 0.7	30.0	△ 1.4
	リゾート Resort	5.5	△ 0.5	5.5	△ 0.6

補足資料

国際貨物 方面別実績		2013年度 構成比 FY13 Composition	前年差 Difference	第4四半期 構成比 4Q/FY13 Composition	前年差 Difference
貨物収入 Revenue	北米 North America	21.9	+ 2.0	22.7	+ 2.7
	欧州 Europe	14.5	△ 0.8	15.3	△ 0.1
	中国 China	36.3	△ 0.5	34.0	△ 1.2
	アジア Asia	20.3	△ 0.8	21.2	△ 1.3
	その他 Others	7.0	+ 0.1	6.7	△ 0.1
有効貨物 トンキロ ATK	北米 North America	38.3	+ 5.7	39.4	+ 4.3
	欧州 Europe	19.6	△ 3.6	18.0	△ 5.0
	中国 China	17.5	△ 2.3	17.8	+ 0.2
	アジア Asia	20.4	+ 0.1	20.9	+ 0.2
	その他 Others	4.2	+ 0.1	4.0	+ 0.3
有償貨物 トンキロ RTK	北米 North America	39.7	+ 4.4	41.1	+ 4.5
	欧州 Europe	22.5	△ 4.0	21.9	△ 3.5
	中国 China	15.4	△ 1.2	14.0	△ 1.3
	アジア Asia	18.1	+ 0.8	18.9	+ 0.1
	その他 Others	4.2	△ 0.0	4.2	+ 0.2

補足資料

運用航空機数		前年度末 Mar, 2013	当期末 Mar, 2014	増減 Change	保有機数 Owned	リース機数 Leased
大型機 Wide-Body	Boeing 747-400 (Domestic)	5	1	△ 4	1	0
	Boeing 777-300ER	19	19	—	16	3
	Boeing 777-300	7	7	—	7	0
	Boeing 777-200ER	10	12	+ 2	6	6
	Boeing 777-200	16	16	—	14	2
中型機 Mid-Body	Boeing 787-8	17	27	+ 10	27	0
	Boeing 767-300ER	26	26	—	6	20
	Boeing 767-300	25	21	△ 4	21	0
	Boeing 767-300F	2	2	—	0	2
	Boeing 767-300BCF	7	7	—	7	0
小型機 Narrow-Body	Airbus A320-200	22	19	△ 3	16	3
	Boeing 737-800	21	24	+ 3	21	3
	Boeing 737-700ER	2	2	—	2	0
	Boeing 737-700	14	11	△ 3	8	3
	Boeing 737-500	16	15	△ 1	15	0
リージョナル機 Regional	Bombardier DHC-8-400 (Q400)	20	21	+ 1	11	10
	Bombardier DHC-8-300 (Q300)	1	1	—	1	0
合計 Total		230	231	+ 1	179	52

バニラエア運用 A320-200 5機を含む
2014年3月末現在、グループ外にリースしている機数を除く（当期末 14機、前年度末 13機）

ANAグループが目指すもの

グループ経営理念

安心と信頼を基礎に
世界をつなぐ心の翼で
夢にあふれる未来に貢献します

グループ安全理念

安全は経営の基盤であり社会への責務である
私たちはお互いの理解と信頼のもと
確かなしくみで安全を高めていきます
私たちは一人ひとりの責任ある
誠実な行動により安全を追求します

グループ経営ビジョン

ANAグループは、
お客様満足と価値創造で
世界のリーディングエアライングループを目指します

免責事項

当資料は、弊社の現在の計画、見積り、戦略、確信に基づく見通しについての記述がありますが、歴史的な事実でないものは、全て将来の業績に関わる見通しです。これらは現在入手可能な情報から得られた弊社の判断及び仮説に基づいています。

弊社の主要事業である航空運送事業には、空港使用料、航空機燃料税等、弊社の経営努力では管理不可能な公的負担コストが伴います。また、弊社が事業活動を行っている市場は状況変化が激しく、技術、需要、価格、経済環境の動向、外国為替レートの変動、その他多くの要因により急激な変化が発生する可能性があります。これらのリスクと不確実性のために、将来における弊社の業績は当資料に記述された内容と大きく異なる可能性があります。従って、弊社が設定した目標は、全て実現することを保証するものではありません。

ご清聴ありがとうございました。

Thank you.

当資料はホームページでもご覧いただけます。

This material is available on our website.

<http://www.anahd.co.jp>

[日本語] 株主・投資家情報 → IR資料室 → 決算説明会資料

ANAホールディングス株式会社 財務企画・IR部

電話番号 03(6735)1030(代) メールアドレス ir@anahd.co.jp